

平成 28 年度の活動報告

1. 東海道 2 峠 6 宿情報発信と連携事業

1) 解説マップの増刷

ー解説マップを増刷した。増刷したものはその大部分を地元の協議会メンバーの協力を得て、保管、配布してもらっている。

■由比宿+薩埵峠：1 万部（NPO ふれあい由比 9500 部）

■江尻宿+清水湊：5 千部（次郎長生家 4500 部）

■丸子宿+宇津ノ谷峠：1 万部（NPO 丸子まちづくり協議会 9500 部）

■府中宿+城下町：3 千部（事務局）

2) パスポート冊子の募金について

ー27 年度に印刷した 2 峠 6 宿冊子 2000 部は、各宿場の協議会メンバーまたは宿場を支える団体の活動場所に設置した。

ー冊子希望者には 200 円以上の募金をお願いしており、事務局費用として 100 円、それ以上の金額はそれぞれの活動団体の運営費としている。

ー680 冊を提供することができた。

3) 各宿の写真データーの取得

ー2 峠 6 宿を PR するため、各宿、峠において 8 ～10 点程度の写真撮影を行った。

4) 撮りにおいでよ！宇津ノ谷⇒遊びにおいでよ！宇津ノ谷

ー中世の道から現代の道までが現存する道のエコミュージアムの宇津ノ谷の発信事業として今回で 5 回目となる。

ー平成 28 年度は宇津ノ谷倶楽部、丸子まちづくり協議会が主催者となり、宇津ノ谷まちづくり協議会とともに実施した。地域色豊かな催しが多く実施された。

■日時：平成 28 年 11 月 13 日(日) 10：30～

<実施内容>

- ①丸子幼稚園児の踊り
- ②ご当地アイドル紅トマトミニコンサート
- ③子供甲冑隊の披露
- ④秀吉甲冑隊(大人)の披露
- ⑤市議太鼓倶楽部出演
- ⑥民話従団子朗読
- ⑦駿河総合高校販売



2. その他:魅力ルート環境づくり事業関連

1) 旧東海道ルートへの東海道標示の検討

(1) 二峠六宿道旅推進実行委員会(H27 年設立)との連携

ー文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」を実施し、「二峠六宿ブランディング(案内板設置)情報発信事業」において、東海道のサイン整備についての関係各課、関係者との意見調整を行った。

■第1回二峠六宿ブランディング会議(道路管理者・関係者会議)

①日時・場所

- ー平成28年8月26日(金)
14時30分～16時15分
- ー静岡市役所 新館4階 建設局災害対策室



②出席者

No.	所 属・役 職	名前
1	国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課 計画係長	古居 武司
2	国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課 技官	問山 賀衣
3	静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課主査	植松 勇樹
4	静岡市 建設局道路部 道路計画課 課長補佐兼道路企画係長	望月 克彦
5	静岡市 建設局道路部 道路保全課 管理係 副主任	大石 尚夫
6	静岡市 建設局土木部 土木管理課 占用係 専用係長	林 良道
7	静岡市 建設局土木部 土木管理課 占用係	原田
8	静岡市観光交流文化局観光交流課 東海道歴史街道係長	膳亀 加奈子
9	静岡市観光交流文化局観光交流課 東海道歴史街道主事	萩原 佑
10	藤枝市市民文化部街道・文化課 主幹	大石 裕己
11	NPO 法人地域づくりサポートネット 代表理事 (日本風景街道)	山内 秀彦
12	NPO 法人くらしまち継承機構 理事長 (風景街道・景観)	伊藤 光造
13	静岡二峠六宿街道観光協議会 事務局	高木 敦子
14	二峠六宿道旅推進実行委員会	野尻 めぐみ

<意見概要>

- 東海道が分かりにくいことは十分に理解した。
- 市では路面に貼り付ける素材のものを民間が道路上に整備することは認めていない。
しかし、公共性が高ければ認められる可能性があり、道路協力団体として対応は検討するが、対策、パトロールをしっかりと行うという条件となる。
- 景観条例、屋外広告物条例にかからないよう建築総務課と協議が必要である。
- 道路上、道路施設に設置する場所、沿道の住民の承諾を得て設置したほうがいい。

■第2回二峠六宿ブランディング会議(各宿場ボランティアガイド関係者)

①日時・場所

ー平成28年12月27日(火)

14時00分～15時30分

ー静岡市民文化会館 第2会議室



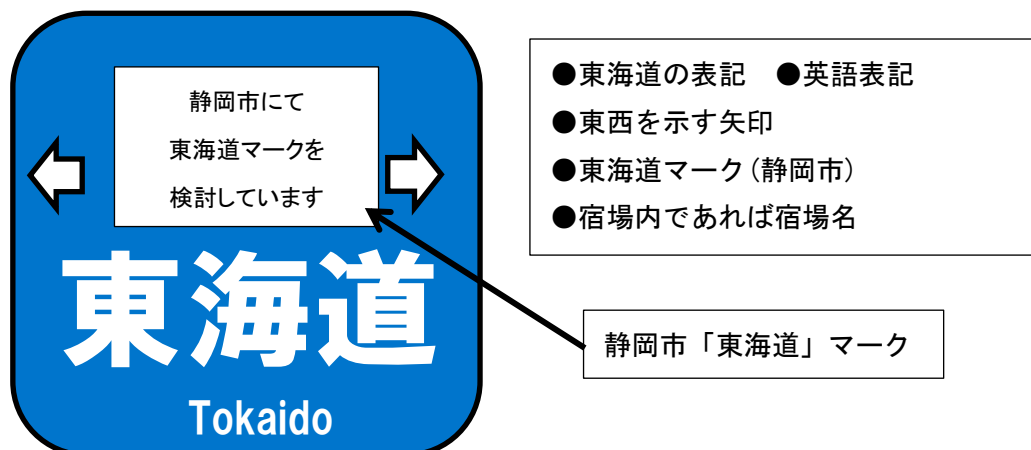
②出席者

NO.		所属・役職	名前
1	蒲原宿	木屋江戸資料館 代表	渡邊 俊介
2	由比宿	由比観光ボランティアガイド連絡会 会長	古牧 資晟
3	興津宿	NPO 法人おきつ 理事長	飯田 英夫
4	江尻宿	清水ふるさとガイド研究会 会長	久保田 裕夫
5	府中宿	静岡案内人「駿府ウェイブ」	原田 悦子
6	丸子宿	NPO 法人丸子まちづくり協議会 理事長	村松 勝美
7		静岡二峠六宿街道観光協議会	高木 敦子
8		二峠六宿道旅推進実行委員会	野尻 めぐみ

③表示板概要

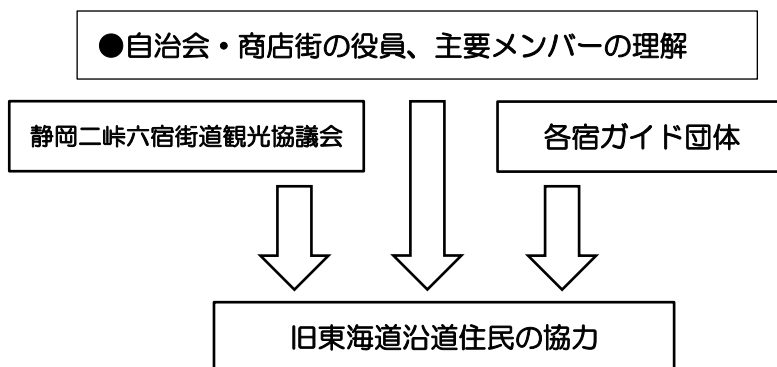
東海道を歩く人にとっては大きく、見やすい案内表示が望ましいが、大きなサイズでは民地側の了解を得ていくのは難しい。その点、どの程度の大きさに設定するのかは二峠六宿ブランディング会議にて検討を行った。その結果 15cm～25cm程度であれば可能であろうということとなった。

i. 東海道沿道の民地表記



ii. 設置方法

各地区の自治会や商店街へ東海道の理解を図ることが大切である。そして、自治会や商店街を経由して、沿道の住宅や商店に案内表示の掲載を依頼し、地域で対応していくことが大切である。蒲原宿、由比宿、興津宿、丸子宿など地域住民の東海道について認知度が高く、東海道や宿場を意識してまちづくりを進めている地域と江尻宿、府中宿など東海道の存在意識の低い地域では、受け入れ方が違ってくる。ガイドのなかには自治会会長経験者等もいるため、各宿場の自治会、商店街など協力を得やすい地域から実施していくものとする。



(2) 静岡市の「東海道標示基本デザイン制作事業」

①目的

歴史街道を活かしたまち歩きを観光の柱としている静岡市においては、各宿場や事業ごとにキャラクターやマークが展開され、東海道や二峠六宿としての統一感が図られていない。東海道歴史街道のブランディングを進めるためには、本市の東海道のマークをつくり、一体的なイメージで発信する必要がある。そのため、東海道を表すマークの基本的な考え方とデザインを整理する。



②出席者

名 前	所 属	備 考
天野 光一	日本大学理工学部まちづくり工学科 教授	静岡県屋外広告物審議会会長
伊藤 光造	NPO 法人くらしまち継承機構 理事長	静岡県建築審査会会長
田中 孝治	NPO 法人日本風景街道コミュニティ 理事	静岡二峠六宿街道観光協議会会長
田中 豊稲	(財)静岡市文化振興財団 業務執行理事	静岡市立美術館館長・静岡市文化振興審議会
中村 羊一郎	静岡産業大学総合研究所 客員研究員	静岡市歴史文化施設建設検討委員会会長
田中 誉久	静岡県観光部・観光交流局 観光政策課主事	オブザーバー
膳亀 加奈子	静岡市観光交流文化局 観光交流課	
内藤 邦彦	静岡市観光交流文化局 観光交流課	

③検討内容

■東海道標示基本デザインの考え方

- ①東海道を示す象徴(シンボル)となる
- ②シンプルである
- ③歩く人や自転車に対して分かりやすく東海道を示す
- ④地元の共感を得る
- ⑤周囲の雰囲気や歴史性に配慮する

■活用種類の整理

制作する東海道標示は東海道沿道と広報での活用が想定される。本標示マークについては以下の点について基本事項として進めていく。

- ☐道：歴史的な根拠を有する東海道※に設置するものである
- ☐施設：東海道沿道施設、または東海道に係る施設のみに設置する
- ☐印刷物：東海道、宿場の広報、マップ、東海道のPR関連の印刷物のみに活用できる
- ☐イベント：東海道、宿場に係る祭やイベントのみで使用する

■禁止事項の整理

①設置場所の禁止事項

- 設置条件：東海道のみちそのものを標示するものであり、歴史的な根拠のある東海道沿いに設置する。
- 禁止事項：安全である、あるいは歩きやすい等の理由で設定されたウォーキングルート標示には使わない。

②デザインの禁止事項

③拡大形の留意点



(3) 藤枝市旧東海道サイン設置

一藤枝市は旧東海道沿いの区画整理において、新設道路を整備した。その静岡市で検討された旧東海道標示をもとにサイン整備を行った。



2) 道路協力団体申請等についての報告

- ー道路管理者と民間団体が協力して道路の充実した管理を行う制度であり、協力団体は道路上で活動に寄与する収益事業ができる。(個別案件別に各道路管理者と調整必要)
- ー7月4日(月)名古屋中部地方整備局にて道路協力団体説明会に参加した。
- ー8月頃、道路協力団体公募申請が始まる予定であったが、要綱公開が11月となった。
- ー申請条件が当初よりも厳しくなり、また、本協議会が目指す活動に対応していないことから、断念した。

▼東海道のルートが とにかく
分かりにくい！

■分かりにくい所に東海道サインを
設置したい

3) 日本風景街道としての活動

- ー宇津ノ谷の道エコミュージアムの英語版の作成

4) 江尻宿次郎長生家、改修内覧視察会の開催

- ー江尻宿にある次郎長生家が今年度、耐震改修工事を実施している。次郎長生家は約200年前の伝統工法の建物である。
 - ーその改修においては、建物の価値がそこなわないよう、建物をジャッキで持ち上げて、不陸調整を行い、柱や梁では埋木や接ぎ木等の伝統技術を用いた整備を行っている。
 - ーまた、解体が進むと当時の庶民の暮らしが分かる要素も出てきており、それらについて歴史建造物の専門家の助言を受けて整備している。
 - ーそのため、清水地区エリアのボランティアガイドを対象に次郎長生家の工事途中の内覧説明会を実施した。
- (1)月日 : 平成29年3月28日火曜日15時～
(2)場所 : 清水湊次郎長生家
(3)参加者: 清水ボランティアガイドの会メンバー5名、一般参加6名、

